



私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県



神奈川県

平成 30 年 10 月 16 日

参考資料

同時送付記者クラブ(県政、横須賀市政、鎌倉メディアセンター)

(鎌倉市同時送付)

『『かながわプラごみゼロ宣言』 in 鎌倉 ～海から SDGs を考える～』を開催します

ともに SDGs 未来都市であり、「プラごみゼロ宣言」を発表した、神奈川県と鎌倉市が連携して、『『かながわプラごみゼロ宣言』 in 鎌倉』を開催します。

「プラごみゼロ宣言」を通じて持続可能な社会、SDGs の実現を考えていきましょう！

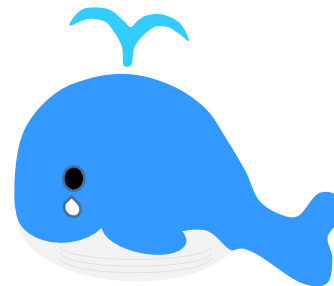
1 開催概要

日時:平成 30 年 11 月 2 日(金) 14 時から 17 時

会場:鎌倉市鎌倉生涯学習センター(きらら鎌倉)ホール

主催:神奈川県、鎌倉市

協力:公益財団法人かながわ海岸美化財団



2 開催内容

第 1 部:トークセッション (14 時 10 分から 15 時 30 分)

(テーマ)「プラごみゼロ宣言」から SDGs を考える

(パネリスト) 松尾 崇 鎌倉市長

山口健太郎 神奈川県理事(いのち・SDGs 担当)

末吉 里花 一般社団法人エシカル協会代表理事

二瓶 泰雄 東京理科大学理工学部土木工学科水理研究室教授

(コーディネーター) 川廷 昌弘 博報堂 DY ホールディングス CSR 推進担当部長、神奈川県

顧問(SDGs 担当)、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャ

パン SDGs タスクフォースリーダー

第 2 部:プラスチックごみ問題の現状(15 時 40 分から 17 時)

「神奈川の海岸ごみの実態」(公益財団法人かながわ海岸美化財団 柱本 健司)

「海洋プラスチック問題への取組み」(日本プラスチック工業連盟専務理事 岸村 小太郎)

「相模湾沿岸に漂着するマイクロプラスチック」

(神奈川県環境科学センター調査研究部長 池貝 隆宏)

特別講演「市街地と河川のマイクロプラスチック汚染」

(東京理科大学理工学部土木工学科水理研究室教授 二瓶 泰雄)



3 参加費

無料

4 定員

先着260名

5 申し込み先

事前申し込みはありません。当日、直接会場までお越しください。

6 取材について

本シンポジウムに関する取材を申し込まれる場合は、神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター環境部(電話 046-823-0354、FAX046-824-2459)にお申し込みください。

【参考】

「かながわプラごみゼロ宣言」及び「かまくらプラごみゼロ宣言」

■鎌倉生涯学習センター案内図



問合せ先

神奈川県政策局政策部総合政策課
政策調整担当課長 船山 電話 045-210-3051

神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター
環境部長 内山 電話 046-823-0354

かながわプラごみゼロ宣言

海洋汚染が今、世界規模で大きな社会問題となっています。また、プラスチックごみが小さく砕けてできたマイクロプラスチックが、世界中の海で確認されています。こうしたことから、世界中に展開している飲食店でプラスチック製ストローを廃止する動きが広まっています。そんな状況の中、鎌倉市由比ガ浜でシロナガスクジラの赤ちゃんが打ち上げられ、胃の中からプラスチックごみが発見されました。

SDGs 未来都市である神奈川県は、これを「クジラからのメッセージ」として受け止め、深刻化する海洋汚染、特にマイクロプラスチック問題から、SDGs 推進に取り組みます。プラスチック製ストローやレジ袋の利用廃止・回収などの取組を神奈川から広げていくことで、SDGs 達成に向け、2030年までのできるだけ早期に捨てられるプラごみゼロを目指します。

神奈川県知事 黒岩 祐治



私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県

かまくらプラごみゼロ宣言

鎌倉市は、環境負荷の少ない「循環型社会」を形成するため、市民、事業者、行政が連携・協働して3Rを推進して「ゼロ・ウェイストかまくら」の実現を目指しております。

平成30年9月4日に「かながわプラごみゼロ宣言」がなされましたが、鎌倉市においても「かまくらプラごみゼロ宣言」を行い、神奈川県と連携、協調を図りながらこれまで実施してきたレジ袋の利用廃止・回収などを一層推進するとともにプラスチック製ストローの利用廃止を求めていくことにより、ゼロ・ウェイストの実現さらにはSDGsの目標を達成できるよう取り組みを進めてまいります。

1 これまでの取り組みの強化

(1) 市民や事業者等に対する取り組み

① ライフスタイルの見直しに向けた啓発

マイバック、マイボトル、マイ箸を使用し使い捨て製品の使用を控えるなどの啓発を引き続き実施し更に徹底します。

- ・自治・町内会説明（29年度56回）、鎌倉ごみ減量通信等においてマイバック、マイボトル等の啓発

② 生産、流通、販売工程における使い捨て物品の削減

工場における容器包装の減容化、販売工程におけるレジ袋の削減等の啓発を引き続き実施し更に徹底します。

- ・分別徹底等事業者訪問の際にレジ袋等の削減について要請（29年度 個別訪問561社）

③ 3Rに貢献している事業者等の地域での取り組みPR

- ・ごみの減量資源化に取り組む（マイバックの推進やレジ袋有料化など）の市内事業者を「エコショップ」として認定し公表しています。

④ リユース（再使用）の推進

- ・お祭りやイベント時のリユース食器の補助制度を更に推進します。

⑤ 滞在者に対する協力の呼びかけ

- ・観光旅行者等に対するマイバックの使用やごみの持ち帰りなどチラシ等による情報発信を行ってまいります。

(2) 鎌倉市役所の取り組み

- ① 職員のマイバック、マイボトルの使用を徹底します。

- ② ペットボトル飲料の会議等での使用制限を徹底します。

2 今後の取り組み

新たな取り組みとしてプラスチック製ストローの利用廃止や市役所の自販機でのペットボトル飲料の販売を極力廃止するなど、神奈川県と歩調を合わせながら新たな取り組みを検討し実施してまいります。